

振動試験機

○装置の概要

振動試験機は、電気、機械などの工業製品の振動に対する耐久性を評価する装置です。製品が使用環境や輸送時に受ける振動によって、故障や機能障害がないことを確認するために使用します。付属の恒温恒湿槽と組み合わせることで、水平、垂直両方向の「複合環境試験」を行うこともできます。



○主な仕様

加振機

- 型 式 : J230/EM3AM (IMV株式会社)
- 振動数範囲 : 0～3000 Hz
- 最大加振力 : 16 kN (正弦波), 16 kN rms (ランダム波), 40 kN peak (ショック波)
- 最大加速度 : 888 m/s² (正弦波), 622 m/s² rms (ランダム波), 2000 m/s² peak (ショック波)
- 最大速度 : 2.4 m/s (正弦波), 2.4 m/s peak (ショック波)
- 最大変位 : 100 mmp-p
- 試験種別 : 正弦波試験, ランダム波試験, サインオンランダム, 衝撃試験, 高速度衝撃試験 (100 G, 11 ms)

恒温恒湿槽

- 槽内寸法 : W 1000 × H 1000 × D 800 mm
- 温度範囲 : -40 °C ~ +180 °C
- 湿度範囲 : 20 ~ 98 % RH



JKA Social Action
競輪とオートレースの補助事業

※ 本装置は、公益財団法人JKA「2022年度 公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」により導入しました。

広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター 加工技術研究部